

令和５年度 第１回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和５年５月１２日（金） １４時３０分から１５時３０分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 ２階会議室
- 3 出席委員 井口 隆夫、高須 博、島田 篤志、安間 忠雄、金原 圭吾、松澤 久仁美
- 4 欠席委員 遠藤 喜和、加藤 宏史、行森 瑞恵
- 5 オブザーバー 野嶋 京登（富塚協働センター主任：コミュニティ担当）
- 6 学 校 中津川 貴一（校長）、松島 雄次郎（教頭）、深田 貴代（教務主任）、
岩邊 三幸（ＣＳディレクター）

7 傍 聴 者 なし

8 会議録制作者 ＣＳディレクター 岩邊 三幸

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、島田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された島田委員から、金原委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から松澤委員を推挙する旨の発言あり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （１）学校運営の基本方針について
- （２）ＴＳ活動について
- （３）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （４）夢育やらまいか事業ＣＳ加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会の松島から、委員総数９人のうち６人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（１）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・昨年度の会議で、映像で見ていただいた体育大会での応援練習等も、この活動方針によるものか。（安間委員）

⇒体育大会の応援練習では縦割りでグループを組み、３年生が中心となり指揮をとり、リーダーシップを発揮する。先生はあえて様子を見ているだけで、必要な時にアドバイスする。スクールツアーも同じく生徒主体でやっているものであり、富中ならではの活動となっている。（校長）

- ・自分自身も直接子供たちと関わりがある中で感じるが、富塚中の子供たちは素直な子が多い。活動方針を受けて、これだけ寄り添っていただければ、このコミスクだけでなく、保護者としても安心

して子供たちを預けられると思う。(金原委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) TS活動について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づきTS活動について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ ボランティアに参加した子供たちを見ていると、楽しんでやっていると感じる。(安間委員)
- ・ 主催側としても楽しんで活動してもらうことが前提で、活動を通して地域の方と顔見知りになり、地域の課題や思いを皆で共有し、共に切磋琢磨することで輪ができる。そういった輪が広がることで、新たに参加したいという人も出てくるだろうし、また、その地域で活動している知らない人とも知り合いになれるメリットがある。(野嶋)
- ・ 全国学調の統計調査結果にある、子供たちが将来の夢や希望を持っているかという項目に対して評価が低いのは、小学生とは違い、中学生になって現実を知って、考えにくくなっているのではないかと思う。職業体験や未来授業くらいでは足りないと思うので、もっと働く大人たちを見る機会を増やしてはどうか。(安間委員)
- ・ 未来授業で関わらせていただいた中で感じたのが、子供たちが進路に対してのビジョンが狭いということである。例えば、このコミスクを通して、子供たちにコミスク面談と似たような感じで未来進路相談をする等、富塚地区は幸い様々な職種に就いている人が多いので、この環境を利用し職業に対する知識を深めることで、未来の夢も少し広がるのではないか。(金原委員)
- ・ 職業柄、中高生を受け入れることがあるが、今の若い子たちを見ると、学術的に学んできていることは多いが、表面的なことしか知らなかったりする。自分の興味があることをもっと深掘りする、いろいろなものに触れる機会を持つ、また、そういった社会つながる入り口を見せることで、その先の人生の伸び代も変わってくると思う。(島田委員)
- ・ 自分が見ている未来像とリンクした人との接点を持つ機会があれば、視野が広がり、選択肢が増える。中学生において選択肢が広がることが必要だと思うので、知る機会を作ってはどうか。(金原委員)
- ・ 僕たちの時代と比べると、情報が多すぎて、選択に迷う場面が多いのではないかと思う。いろんな場面を設定し教えながら、夢と現実の違いということを教えなければならない。(井口委員)
- ・ 富塚小、富塚西小、富塚中の3校合同のコミスクをどこかでやっていただきたい。情報を共有する機会を持つことでお互いのブラッシュアップにつながるのではないか。(金原委員)
- ・ 提案だが、プロスポーツ選手と触れ合う等、地域スポーツとの連携事業をどこかでできたら面白いのではないか。この協議会で企画できたらと思う。(金原委員)

(3) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本的な方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ この方針について、市と富塚中では何か違いはあるのか。(安間委員)
⇒市の方針を受けてのことで、富塚中独自のものは無い。いじめの対応の基本として、生徒が教

員に対していじめを訴えた場合、まず、両者の意見を丁寧に聞いてあげることが大切だと考えている。(校長)

- ・ 昔はいじめというものはなかった。こういった背景でこうなっているのか興味深い。(高須委員)
- ・ 情報が多すぎるというのも原因の一つではないか。いじめは未然に防ぐということも大切だが、守られ過ぎた子供たちが社会に出た時にどう対応していくのかが気になるところである。(金原委員)
- ・ いじめに関して地域と連携するのは、正直難しいと思う。やはり、学校の先生がどこまでそこに入り込めるかがポイントであり、生徒とのコミュニケーションだけではなく、教員間でも言いやすい環境を作っていくことが、いじめをなくしていくことの一つの手法ではないか。(野嶋)
- ・ 地域との連携という意味では、地域の中でいじめ防止のホットラインの窓口を作る等、協議会で今後話し合うことができればと思う。(金原委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、今年度の夢育やらまいか事業にたいする意見書についての説明があり、6月の内山絵里加アナウンサーを招いての講話と7月の未来授業に予算を計上するとの報告があった。

その他の連絡事項

司会から、次回会議は令和5年9月4日(月)午後1時30分から授業参観をした後、午後2時から2階会議室で開催する旨の報告があった。